

## ■出題傾向

空所補充の客観形式の出題が中心ですが、正誤指摘問題なども出題されます。must have done などの完了形を後に伴う形を問うものが多くなる傾向が見られます。推量/可能性の意味では may do, may have done だけでなく、might do, might have done を選ばせるものも増えており、その点、注意が必要だと思われます。

- ・例題 35 ----- ① 【助動詞の基本用法 / cannot 「…のはずがない」】  
彼はとても若く見える。50 を越えているはずがない。
- ・例題 36 ----- ① 【have to do の用法】  
大きな影響を与えたいと思うなら、テレビでのキャンペーンを行うことを考えなければならぬだろう。
- ・例題 37 ----- ④ 【ought to do / should do の用法】  
君はひどい風邪をひいているのだから、ぜひとも喫煙をやめるべきだ。
- ・例題 38 ----- ① 【would rather do の用法】  
彼女は今はそのことを議論したくないと言った。
- ・例題 39 ----- ③ 【had better do の用法】  
暗くなってからはひとりで外出しないほうがいいよ。
- ・例題 40 ----- ① 【used to do の用法】  
ジャックは若い頃、たくさんタバコを吸ったものだった。
- ・例題 41 ----- ④ 【主語の拒絶の意志を表す will not / would not】  
私はいくつかの質問をしたが、彼女はそれぞれのどれにも答えようとしなかった。
- ・例題 42 ----- ③ 【must have done 「…したに違いない」など】  
ほら、庭一面真っ白だよ。夜の間に雪が降ったに違いない。
- ・例題 43 ----- ④ 【should have done 「…すべきだったのに」など】  
昨日彼にその知らせを伝えたときの彼の顔を見せてやりたかったよ。←君は彼の顔を見るべきだったのに。
- ・例題 44 ----- ③ 【that-節で「(should +) 原形」を用いる表現】  
私は彼女に教授に会うように勧めた。
- ・例題 45 ----- ① 【cannot ... too ~ など助動詞を用いた慣用表現】  
繁華街で車を運転するときはどんなに注意してもしすぎることはない。

## ①

1. ② 彼があまり速くしゃべるので、話についていけなかった。▶ 例題 35
2. ③ 彼がブッシュ大統領から手紙を受け取ったなんていうことはあり得るだろうか。▶ 例題 35
3. ② 新しい家に引っ越したところです。ぜひ遊びに来てください。▶ 例題 35  
❖ 「義務・命令」の must であるが、主として親しい間柄の場合 2 人称主語で用いると、本問のように丁寧な勧誘を表すことがある。
4. ③ コンサートは 7 時に始まります。遅れてはなりません。▶ 例題 35
5. ② 彼はテレビを見ているはずがない。今日はストライキで、番組がない。▶ 例題 35
6. ② 本を借りたい人はだれであれ学生証を提示しなければならない。▶ 例題 36
7. ④ ほんのひと目見させてくれるだけでいいのです。▶ 例題 36
8. ③ あなたは休むべきだと思う。具合が悪そうだ。▶ 例題 39  
❖ ② it'd better for you to は be-動詞が欠けている。
9. ③ もし時間が十分ないのなら、飛行機で行きたい。▶ 例題 38
10. ② トーストがあるのなら、どちらかといえば朝食にご飯は食べたくない。▶ 例題 38
11. ④ 私の父と母は、以前たばこをすっていましたが、今はもうすっていません。▶ 例題 40
12. ④ 学生時代には、よくひとりで川へ釣りに行きました。▶ 例題 40

13. ④ ジェーンに宿題をやるようにとよく言いましたが、彼女は耳を傾けようとしませんでした。

▶ 例題 41

14. ① 眼鏡がない。もしかしたら電車の中に置いてきたかもしれない。▶ 例題 42

15. ④ 彼は今オフィスにいないので、家に帰ったに違いない。▶ 例題 42

16. ③ 彼は英語が苦手なので、そんな完璧な手紙を書いたはずはない。▶ 例題 42

17. ② 彼は昨日そこにいたかもしれないが、私たちは会わなかった。▶ 例題 42

❖ ③ might be は、形は過去でも現在の推量であることに注意させたい。

18. ③ 彼は東京を昨夜の 8 時前に出発すべきだったが、そうしなかった。▶ 例題 43

19. ④ あなたは昨日、ナオミに私たちの秘密を話すべきではなかった。▶ 例題 43

20. ③ あの少年たちは、さほりすぎだ。仕事は何時間も前に終わっていたはずだ。▶ 例題 43

21. ③ 彼女はこの時間までには着いているはずだ。▶ 例題 43

22. ② 彼がすぐあとでレックスをよこしたので、私は彼に手紙を書く必要はなかったのだが。

▶ 例題 43

23. ② 彼女は医者をただちに呼ぶべきだと主張した。▶ 例題 44

24. ③ 「どうしてこんなに早く帰ってきたの」「ええと、彼女が帰ってくれと言ったんだ」▶ 例題 44

25. ③ その書類は金庫に保管されることが不可欠だ。▶ 例題 44

26. ② 彼女が息子を誇りに思うのはもっともだ。(彼女はおそらく息子を誇りに思っているだろう。)

▶ 例題 45

❖ 大学入試問題の整序問題などでは、本英文でも may well は「…するのをもっともだ」の訳語が与えられているので、そのように指導するのが現実的であろうが、ネイティブ・スピーカーはその大半が It's likely that ... の内容で受けとめるようである。

27. ② 彼にお金を貸すのは、お金を海に投げ捨てるようなものだ。▶ 例題 45

## ②

1. but ▶ 例題 45

2. have to ▶ 例題 36

3. used ▶ 例題 40

4. too ▶ 例題 45

5. cannot[can't] have ▶ 例題 42

## ③

1. ④ will lasts longer → will last longer

このドレスは他のものより高いが、長持ちする。▶ 例題 35

❖ 助動詞の直後には動詞の原形がくることを確認させたい。

2. ① ought arrive → ought to arrive

約束の時間どおりに来るべきです。▶ 例題 37

3. ① thinking → think

彼は自分自身を会社でもっとも優れた管理職だと考えていた。▶ 例題 40

## ④

1. (You had better not keep your shoes on). ▶ 例題 39

❖ not の位置に注意させたい。

2. She is not as (healthy as she used to be). ▶ 例題 40

3. Before climbing the mountain last weekend, (you should have prepared for the heavy) rain. ▶ 例題 43

4. She (should demand that her money be) refunded. ▶ 例題 44

❖ should を that-節中で使うと、demand には 3 人称・単数・現在の s が必要。

5. You can't (praise someone like him too) much. ▶ 例題 45

6. You do nothing but work. I (cannot but admire your effort). But you had better take a rest sometimes. ▶ 例題 45